

2009年8月28日

中国における BPA 及び PC 事業の進捗について

中国石油化工股份有限公司  
三菱化学株式会社

中国石油化工股份有限公司（本社：中国北京市、董事長：蘇 樹林、総裁：王 天普、以下「SINOPEC 社」）と三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「MCC 社」）と三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社（本社：東京都中央区、社長：喜嶋 安彦、以下「MEP 社」）は共同で、中国におけるビスフェノール A（以下「BPA」）とポリカーボネート樹脂（以下「PC」）の製造・販売合弁会社の設立について検討を進めてまいりましたが、本年 5 月 21 日に合弁会社「中石化三菱化学聚碳酸酯（北京）有限公司」（以下「SMP 社」）を設立いたしました。

SMP 社では、BPA 及び PC 製造設備を SINOPEC 社北京燕山分公司内（北京市房山区）に立地し、SINOPEC 社から BPA の主原料であるフェノール及びアセトンとユーティリティの提供を、MCC から PC の主原料であるジフェニルカーボネートの提供を受けて BPA 及び PC を生産いたします。今後、中国の旺盛な需要に対応すべく、2010 年内を目標に製造設備を完成させる予定です。

PC は、透明性、耐衝撃性、寸法安定性に優れたプラスチックとして、自動車部品や電気／電子部品、建材、光ディスク、日用品等幅広い用途に使用されており、また BPA については、PC 及びエポキシ樹脂の主原料として使用されております。

SINOPEC 社は、アジアにおいて、石油精製・石油化学を一体運営する企業の最大手であり、将来に向けて化学事業の最適化を進めております。更に、高付加価値の製品分野への展開も進めており、その中で BPA 及び PC は、その高付加価値の製品分野の一つと位置づけ拡大を図っております。

一方、MCC 社は、フェノールから BPA、PC に至るこのチェーン事業を戦略的に集中事業の 1 つとして位置付けており、今後も高い技術力等の優位性を生かし、世界最強の競争力を有するチェーン事業とすべく、積極的な事業推進を進めてまいります。

※別紙：合弁会社概要

【本件に関するお問合せ先】  
三菱化学株式会社 広報・IR 室  
電話：03-6414-3730

[合弁会社の概要]

1. 会社名称 中石化三菱化学聚碳酸酯（北京）有限公司
2. 事業予定地 中華人民共和国北京市 SINOPEC 社北京燕山分公司内
3. 生産能力 PC : 6 万トン／年、BPA : 15 万トン／年
4. 製造プロセス MCC 社技術
5. 設立時期 2009 年 5 月
6. 資本金 約 7 億 2 千万人民元
7. 総投資金額（予定） 約 22 億人民元
8. 出資比率 SINOPEC 社 : 50%  
ピーシーアール・インベスツメンツ・ジャパン社 : 50%  
※ピーシーアール・インベスツメンツ・ジャパン社は、  
MCC 社と MEP 社が設立した投資会社。  
出資比率は、MCC 社 80%、MEP 社 20%。

以上